

0. データ保存のモジュール

0.1 データ保存モデル

以下に、モジュールの仕様概要と操作手順を示す。

表.1 モジュールの仕様概要

No	項目		内容
1	DLL 名		McSaveFile.DLL
2	概要		入力データ、流出解析結果および調整結果を、既定の保存フォルダにファイルとして出力する。
3	送受信のパターン	受信	①地上雨量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：降雨量 SCALOR_RAIN_FALL (mm/hr) ②レーダ雨量 伝送仕様：2次元時系列 セル内変数：降雨量 SCALOR_RAIN_FALL (mm/hr) ③水位 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：水位 WATER_LEVEL (m) ④流量 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：流量 QUANTITY_OF_WATER_FLOW (m3/s) ⑤調整結果 伝送仕様：1次元時系列 セル内変数：調整量 ANY_VALUE (—)
		送信	なし
4	接続方法	受信	・要素接続は、1次元時系列で行い、降雨量、水位、流量、調整量を入力する。 ・要素接続は、2次元時系列で行い、降雨量を入力する。 ・上記以外の接続は、できません。
		送信	・接続はできません。
5	基礎式		なし
6	備考		
7	サンプルプロジェクト		・データ保存モデル(地上雨量).prjdb ・データ保存モデル(レーダ雨量).prjdb

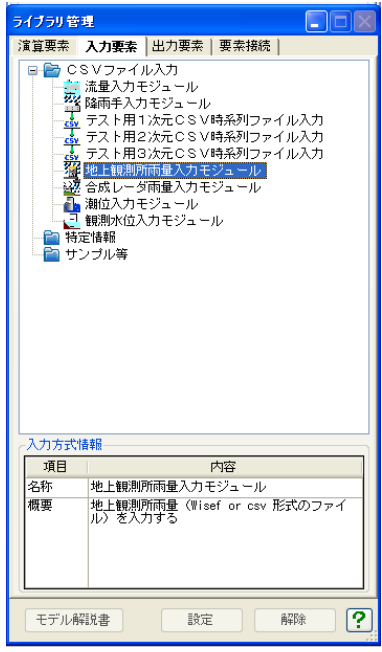
(1) 地上雨量（1次元時系列）パターンの場合

1) モデル接続

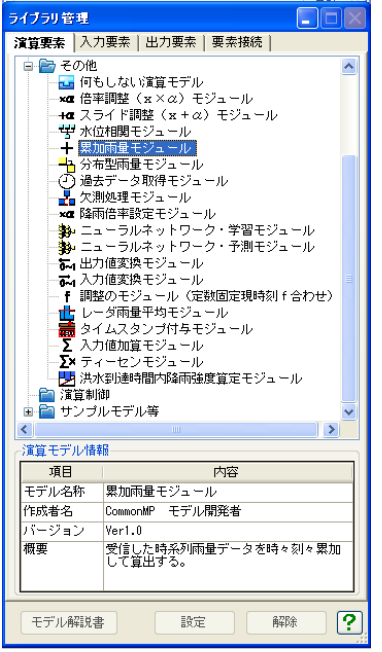
モデルの接続方法を、以下に示す。

①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。

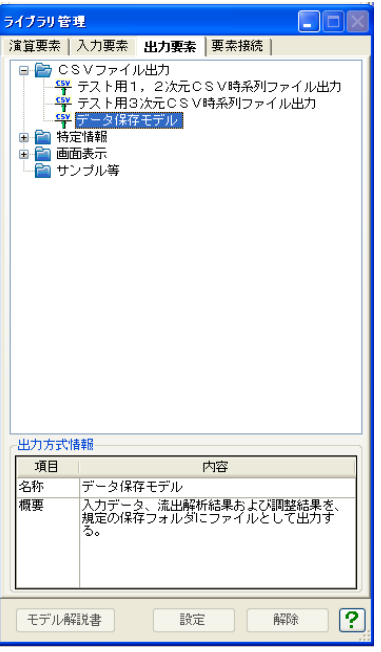
カテゴリーが入力要素の地上観測所雨量入力モジュールを設定

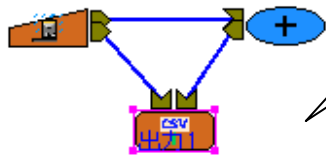


カテゴリーが演算要素の累加雨量モジュールを設定



カテゴリーが出力要素のデータ保存モデルを設定



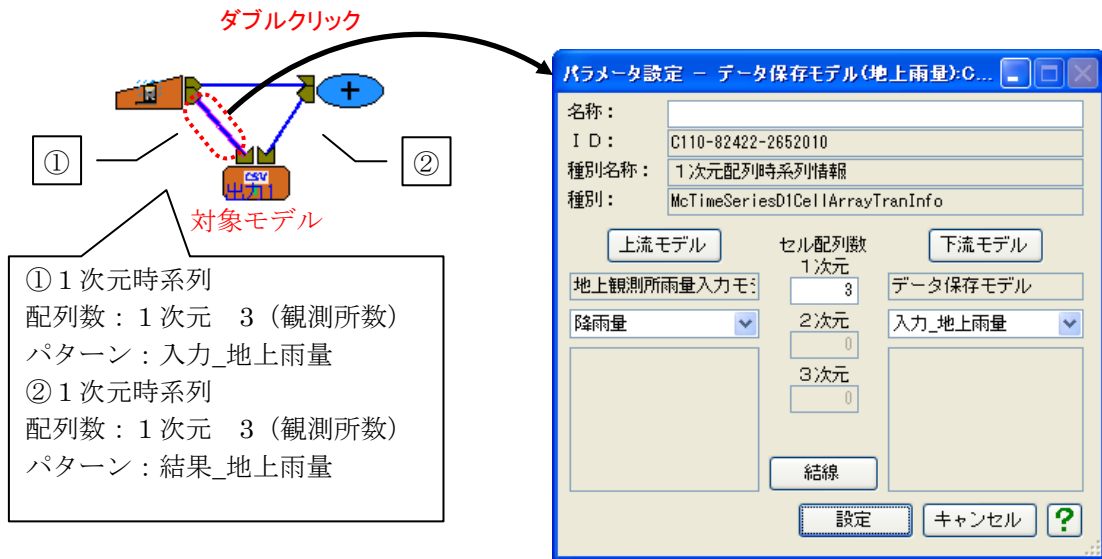


対象モデル

図.1 モデル接続

②要素接続は、以下の通り設定する。

【受信側】



※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.2 要素接続（受信側）

【送信側】

なし

2) パラメータ設定画面

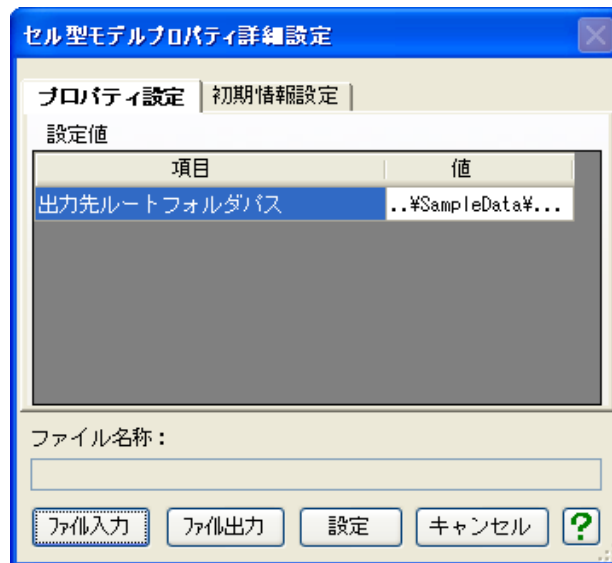


図.3 標準 GUI レイアウト図（データ保存モデル）

3) 入力データ

1次元時系列の雨量データを入力する。

時間	観測所 1	観測所 2	観測所 3
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	雨量	雨量	雨量
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
yyyy/MM/dd HH:mm:ss	:	:	:
:	:	:	:
:	:	:	:

図.4 入力データフォーマット

4) 出力データ

1次元時系列の標準 CSV 形式のファイルが出力される。

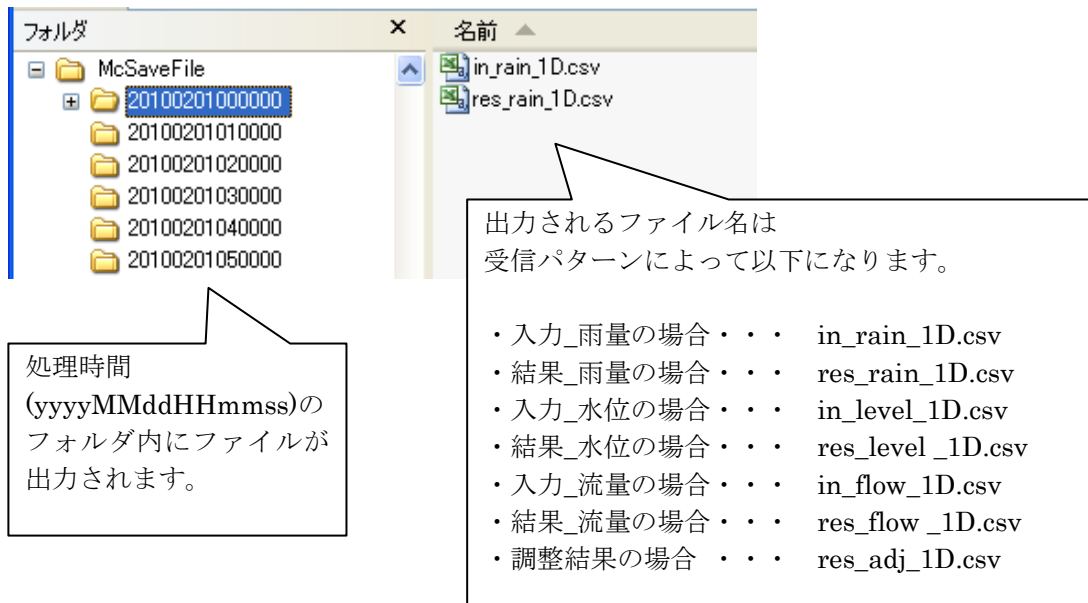


図.5 伝送データイメージ

(2) レーダ雨量（2次元時系列）パターンの場合

1) モデル接続

モデルの接続方法を、以下に示す。

①要素の配置を行い、下図に示すモジュールを設定する。



②要素接続は、以下の通り設定する。

【受信側】

The diagram illustrates the connection of two 2D time series elements to a data storage model. Element ① is connected to the 'Input' port, and element ② is connected to the 'Result' port. A '対象モデル' (Target Model) is shown with a '+' sign. A 'ダブルクリック' (Double-click) action is indicated by a red arrow pointing to the connection point. The 'パラメータ設定' (Parameter Settings) dialog box is shown with the following details:

名称: []
ID: C110-92422-2652010
種別名称: 2次元配列時系列情報
種別: McTimeSeriesD2CellArrayTranInfo

上流モデル: [] セル配列数: 1次元: 160 下流モデル: []
合成レーダ雨量入力モ: [] 2次元: 80 データ保存モデル: []
降雨量: [] 3次元: 0 入力_レーダ雨量: []

結線 設定 キャンセル ?

① 2次元時系列
配列数: 1次元 160 (メッシュ数 X)
 2次元 80 (メッシュ数 Y)
パターン: 入力_レーダ雨量

② 2次元時系列
配列数: 1次元 160 (メッシュ数 X)
 2次元 80 (メッシュ数 Y)
パターン: 結果_レーダ雨量

※本画面は要素接続時にダブルクリック、または右クリックメニューから表示を行う

図.7 要素接続（受信側）

【送信側】

なし

2) パラメータ設定画面

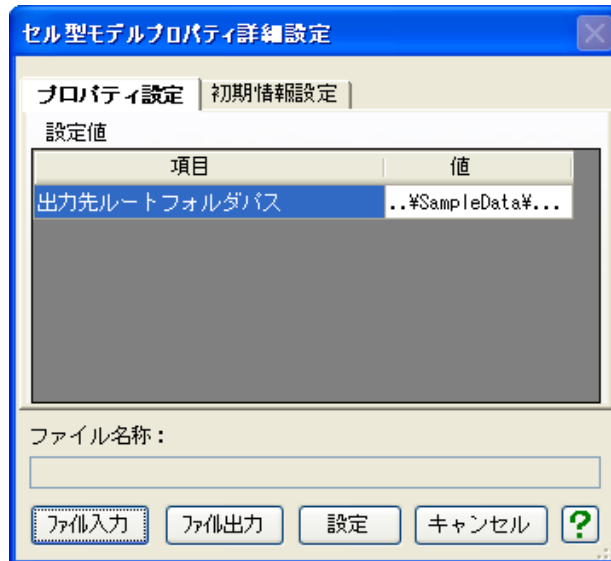


図.8 標準 GUI レイアウト図（データ保存モデル）

3) 入力データ

2次元時系列の雨量データを入力する。

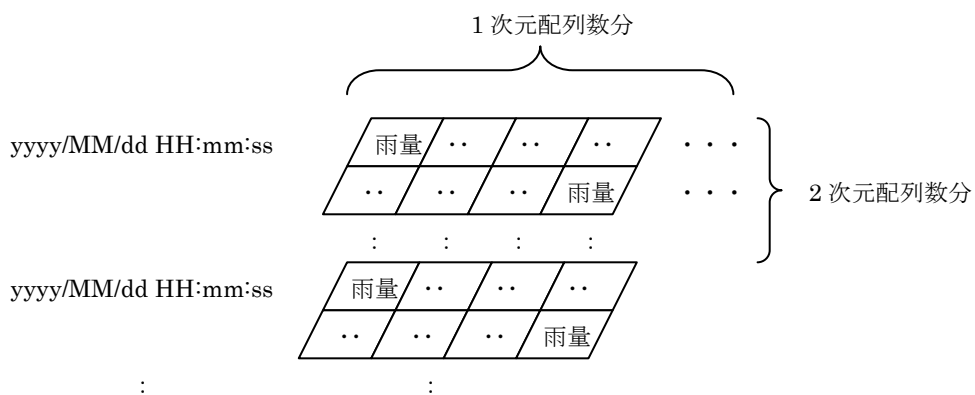


図.9 入力データフォーマット

4) 出力データ

2次元時系列1次元時系列の標準CSV形式のファイルが出力される。

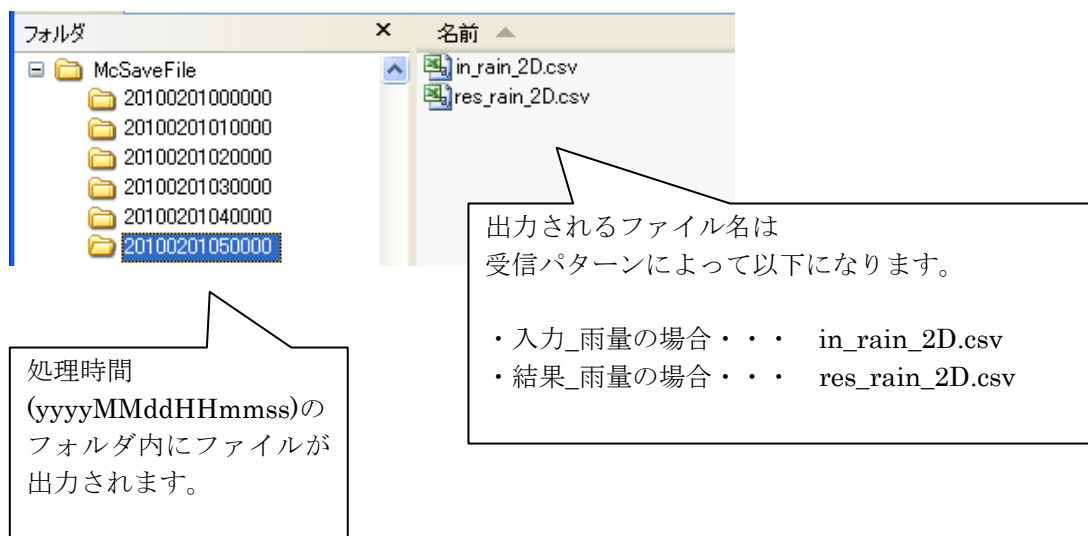


図.10 伝送データイメージ